

元気創出やまぐち！
未来開拓チャレンジプラン
(骨子案)

平成 26 年(2014 年)6 月

山 口 県

【参考】

プランの構成

【策定の趣旨、プランの性格と役割】

①はじめに

【本県の特長や課題に係る現状認識】

②山口県の今

【プランの基本的事項】

③プランの基本的な考え方

[基本目標]

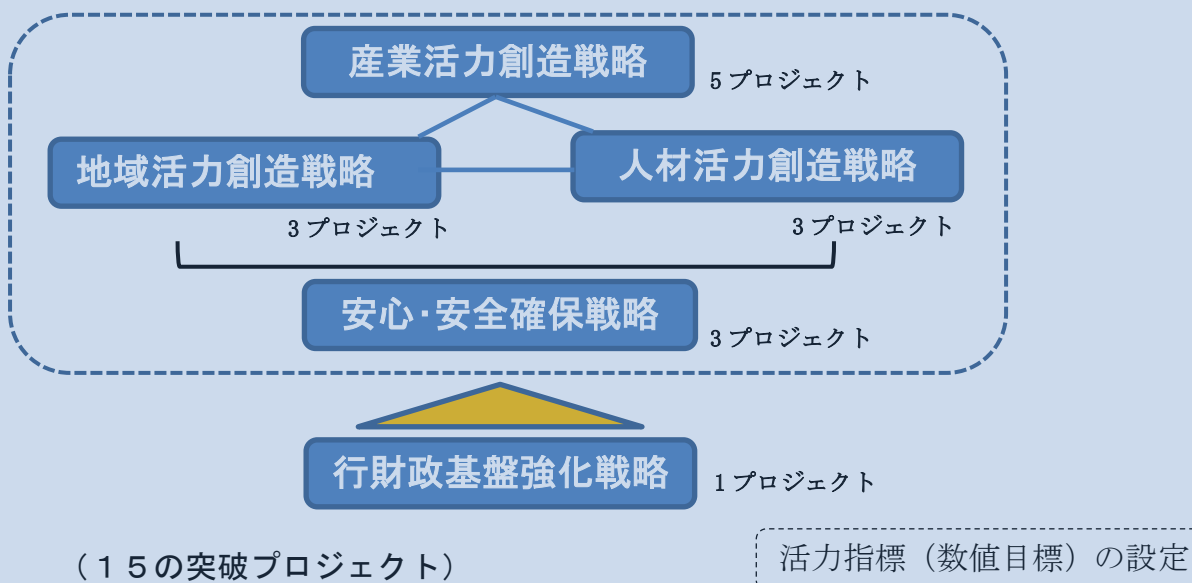
[計画期間]

[県政推進の取組姿勢]

【特に重点的に進める施策】

④未来を拓く

～5つの未来開拓戦略と15の突破プロジェクト～



【施策を体系的に整理】

⑤総合的な施策の推進～施策体系～

【プランの進行管理】

⑥着実な推進に向けて

①はじめに

【策定の趣旨】

- 人口減少や少子高齢化が急速に進行するとともに、産業構造が大きく変化する中で、地域間、国際間の競争も激化するなど、本県を取り巻く社会経済情勢は一段と厳しさを増している。
- こうした厳しい状況に対し、臆することなく、困難な課題に果敢に挑戦し、未来を拓く「突破力」で克服していかなければならない。
- 将来にわたって元気な山口県を創っていくためには、本県の現状や課題を把握し、中期的な視点に立って県政の推進方策を明確に定め、新たな県づくりの道筋をつけていくことが必要である。
- このため、山口県の目指すべき姿を明らかにし、その実現に向けて取り組む政策、施策を戦略的・計画的に進めていくため、「元気創出やまぐち！未来開拓チャレンジプラン」を策定した。

【プランの性格と役割】

- このプランは、新たな県政運営の指針として、今後、県が進める政策の基本的な方向をまとめた総合的な計画であり、かつ、その方向性に向かって取り組むべき具体的な施策を掲げた実行計画的な性格も兼ね備えたものである。
- また、本県が目指す県づくりの方向性を、市町はもとより、企業、団体、そして県民の皆様と共有し、共に取り組んでいくための指針となるものでもある。
- この「チャレンジプラン」に基づき、スピード感を持って施策を推進し、県民の皆様方が「山口県に生まれて本当に良かった」と思っただけのような県づくりに取り組んでまいらる。

②山口県の今(現状認識)

【山口県の特性】

①自然環境

・地勢

三方が海に開け、東西に中国山地が走り、海、山、川など豊かな自然に恵まれているが、地勢上、県土の約7割を中山間地域が占めている。

・気候

気候は概して温暖であり、風水害や地震も比較的少ない。

②歴史・人

・山口県の歴史

源平の合戦やザビエルによる布教活動、幕末の志士の活躍など、日本の歴史を大きく変えた出来事の舞台となった。

・時代をかたちづかった人物

全国トップの8人の総理大臣が輩出されたほか、財界・文学界など幅広い分野で県ゆかりの人物が活躍している。

③産業

・工業

山口県の瀬戸内海沿岸では、造船、化学、機械、金属などの工場が進出し、石油化学コンビナートが形成され、全国有数の工業県である。

・農林水産業

(農業)

耕地面積は約5万haで、田が約8割、畑が約2割となっている。農業産出額は、米が約4割を占めているが、自然条件等の特色を活かして、野菜、果樹、畜産などの多様な生産が行われている。

(林業)

国有林が少なく、小規模分散型の私有林が大半を占めている。

(水産業)

三方が海に開け、全国で6番目に長い海岸線を有しており、豊かな水産資源に恵まれて、古くから水産県として栄えてきた。

④交通インフラ

・道路や鉄道、空港、港湾

3つの高速道路を有し、一般道路の舗装率は全国的にも高水準。

山陽新幹線の駅が5つあり、山口宇部空港、岩国錦帯橋空港という東西の2空港から羽田便が運航している。

2つの国際拠点港湾(下関港、徳山下松港)など重要港湾を有している。

⑤都市構造

県全体に人口が分散する形の都市構造となっており、県内どこでも一定の都市的サービスが享受できる環境にある。

【取り巻く課題】

①人口減少、少子高齢化

- ・人口の減少

昭和 60 年をピークに人口の減少が続いている。

- ・生産年齢人口の割合

15～64 歳の生産年齢人口が、人口全体に占める割合も低下が続いている。

- ・出生数の減少

平成 23 年に県内で生まれた子どもの数は、昭和 50 年の半数に減少した。

- ・高齢化の進行

高齢化率は全国第 4 位であり、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成 52 年には 5 人に 2 人が高齢者になるとされている。

②地域経済等

- ・国際競争の激化

近年、アジア新興国などが急成長しており、国際競争が激化している。

- ・中小企業の現況

景気低迷等により、中小企業の技術革新や経営革新などの取組が鈍化し、開業・創業が伸び悩んでいる。

- ・農林水産業の現況

担い手の減少や高齢化、産地間競争の激化、貿易自由化の動きなど、多くの課題に直面している。

- ・観光客の動向

大都市圏からの観光客が伸び悩んでおり、県外客の割合も徐々に減少傾向にあるほか、宿泊客も減少している。

- ・中山間地域の状況

人口減少、少子高齢化が急速に進行し、学校や医療施設、路線バスの減少や生活店舗の閉鎖等が進み、集落の維持が困難な地域も生じている。

③環境

- ・地球温暖化の状況

本県の温室効果ガス排出量は、基準となる平成 2 年度と比較すると減少しているが、民生家庭部門では大幅に増加している。

- ・廃棄物の状況

一般廃棄物、産業廃棄物ともに減少傾向にあるが、最終処分（埋立）量の削減が課題となっている。

④教育

・子どもの学力・学習状況

全国学力・学習状況調査によると、平均正答率は全国平均を上回っているが、授業以外の学習時間の少なさなどの課題を抱えている。

・子どもたちを取り巻く環境変化

時代の急激な変化や家庭・地域社会の変容など、子どもたちを取り巻く環境の変化に対応し、教育環境や教育内容、指導・支援体制の充実、学校、家庭、地域が一体となった取組の充実などが求められている。

⑤安心・安全

・自然災害の増加

近年、大規模な豪雨災害が相次いでいるほか、平成26年3月には、伊予灘を震源とする地震（県内では震度5弱の揺れを観測）が発生した。

・雇用情勢

雇用情勢は緩やかな回復局面にあるものの、業種や職種、地域による求人と求職のミスマッチの解消や、県内企業の人材確保、さらには、女性、障害者、高齢者の活躍促進のための取組が求められている。

・地域の医療体制や、保健・福祉サービスの状況

救急医療の確保、在宅医療ニーズの増加、地域における医師等の不足といった課題がある。

また、高齢化の進行に伴い、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らせるための取組が求められている。

・県内の犯罪の状況

ストーカーやDV事案、児童虐待、サイバー犯罪などの新たな犯罪や、高齢者を狙った振り込め詐欺など、犯罪の形態が巧妙化している。

⑥財政状況

県の借金である県債残高の縮減と、貯金に当たる財源調整用基金の一定規模の確保は、県の財政運営の健全性と自由度を高めるための最重要課題となっている。

③プランの基本的な考え方

基本目標 「活力みなぎる山口県」の実現

活発な経済活動や人・物の交流が行われ、各地域では自助・共助が定着し、人々が協力し合って地域づくりの取組が進み、そして、全ての県民が将来に希望を持って地域社会で活躍し、日々の暮らしの安心も確保されている・・・人口減少、少子高齢社会にあっても、元気な産業や活気ある地域の中で、県民誰もががはつらつと暮らせる「活力みなぎる山口県」の実現を私たちは目指す。

「活力みなぎる山口県」の姿

- 産業基盤の強化・充実により、企業の国際競争力が高まるとともに、新たな研究開発や事業化に向けた取組が進み、県勢の活力向上につながっている。
- 国内外から多くの観光客が本県を訪れ、観光地が賑わっている。また、県産農林水産物の認知度が高まり、首都圏や海外等でも需要が拡大している。
- 各地域では、互いの絆を大切に、支え合い・助け合い(共助)の活動が広がっている。また、地域の資源・魅力を活かした新たなビジネスが展開されている。
- 安心して子育てができる環境、しっかりとした教育が受けられる環境が整い、子どもや若者が将来に夢や希望を抱いている。また、女性や高齢者、障害者など、あらゆる県民が持てる力を発揮し、いきいきと活躍している。
- 医師・看護師等の不足も解消し、医療や介護、福祉対策も充実している。また、地震や津波などの自然災害への対策も進み、子どもから高齢者までが安心して暮らしている。

計画期間

このプランは、基本目標の達成に向け、

平成26年度(2014年)から平成29年度(2017年)

の間に取り組む施策を明らかにしたものである。

県政推進の取組姿勢

- ・市町、関係団体、企業、県民の力の結集
- ・現場重視・成果重視・スピード重視の3つを基本

④未来を拓く

～5つの未来開拓戦略と15の突破プロジェクト～

5つの未来開拓戦略

- 人口減少、少子高齢化などの厳しい状況の中、本県が直面する様々な困難にチャレンジし、山口県の未来をしっかりと切り拓いていくことが必要
- そのため、本県の元気を創出する攻めの取組である「産業」、「地域」、「人材」の活力創造、そして、その基盤を支える県民の「安心・安全」の確保、さらには、こうした取組を着実に進めるための「県政の基盤の強化」を政策の柱とした5つの「**未来開拓戦略**」を設定

I 産業活力創造戦略

本県の活力源は、強い産業であるとの認識の下、国際競争力の強化に向けて産業基盤の整備や成長産業の育成・集積の取組を、スピード感を持って実行する。また、中小企業の再生・活性化、6次産業化等による農林水産業の振興、明治維新150年等を踏まえた観光力の強化などを推進

II 地域活力創造戦略

山口県の将来を見据えて地域が維持・発展できる、互いの絆を大切にし、支え合う底力のある地域づくりが必要であるとの認識の下、中山間地域をはじめとする県内各地域の活性化、そして、その推進力となる多様な県民活動を促進することなどにより、活力ある地域づくりを推進

III 人材活力創造戦略

本県の元気を創出していくのは人であるとの認識の下、子どもや若者は将来の夢が実現でき、女性をはじめとするあらゆる人材が活躍できる基盤を整備していくようにするため、子育て環境の充実、きめ細かな学習指導ができる教育体制の整備などを推進

IV 安心・安全確保戦略

県民誰もが不安なく暮らせる生活は、県民生活の基本であるとの認識の下、防災・減災対策の充実、高齢化の進行を踏まえた介護や医療の提供体制の充実などを推進

V 行財政基盤強化戦略

4つの戦略を推進するため、将来にわたって持続可能で揺るぎない行財政基盤づくりを推進

15の突破プロジェクト

- 各戦略の下に、諸課題を突破していくために、選択と集中の視点に立ち重点的に取り組む、15の「**突破プロジェクト**」を設定
- プランを着実に進めるため、各プロジェクト毎に数値目標として「**活力指標**」を設定

[I 産業活力創造戦略]

①世界に広がる産業力強化プロジェクト

港湾の機能強化や道路網の整備、工業用水の安定供給などの基盤整備を進め、競争力のある産業を育成するとともに、企業立地を促進

②次世代の産業育成プロジェクト

医療関連、環境・エネルギー産業、水素利活用など、今後の成長が期待される産業の育成を促進

③挑戦する中堅・中小企業応援プロジェクト

技術革新や経営革新などに取り組む意欲的な中堅・中小企業の事業展開の促進や建設産業の再生強化、公共事業における地産地消、ものづくり人材の育成、技能・技術の円滑な継承を推進

④元気な農林水産業育成プロジェクト

地産・地消、首都圏等への販路拡大による県産農林水産物の需要拡大や6次産業化、需要に即した品目の生産拡大、中核経営体の確保・育成を推進

⑤山口の魅力発信・観光力強化プロジェクト

山口県の持つ多彩な魅力の国内外に向けた戦略的な発信や、山口ならではの観光資源・おもてなしの充実による観光振興を推進

[II 地域活力創造戦略]

⑥暮らしやすいまちづくり推進プロジェクト

道路網の整備や生活交通の維持・確保、公共交通機関のバリアフリー化、コンパクトなまちなど暮らしやすいまちづくりを推進

⑦中山間地域も元気！地域の自立応援プロジェクト

地域資源を活用した新たな産業の展開、体験型教育旅行の受入拡大や農林漁家民宿の開業促進、地域を担う人材の確保・育成、U J I ターンを推進

⑧ふるさとの自然環境保全プロジェクト

再生可能エネルギーの導入促進、地球温暖化対策の推進、循環型社会の構築、多様な生物との共生に向けた環境整備、大気・水などの環境保全を推進

[Ⅲ 人材活力創造戦略]

⑨子育てしやすい環境づくりプロジェクト

社会全体で子育て家庭を支える環境づくりの推進、周産期・小児医療体制等保健医療サービスの充実、児童虐待防止対策等子どもを守る取組の推進

⑩次代を担う子どもたちを育む教育充実プロジェクト

確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和のとれた子どもたちの育成、魅力ある学校づくり、世界スカウトジャンボリーを活用した教育を推進

⑪女性も活躍！みんないきいき応援プロジェクト

女性をはじめ、高齢者、障害者が活躍できる地域社会の実現や、雇用の確保・創出、文化・スポーツの振興を推進

[Ⅳ 安心・安全確保戦略]

⑫災害に強い県づくり推進プロジェクト

公共施設や住宅等の耐震化、津波ハザードマップの整備、社会インフラの老朽化対策など自然災害に備えた防災・減災対策をハード・ソフトの両面から推進

⑬安心の保健・医療・介護充実プロジェクト

医師や看護師等の確保・育成、医療機能の分化・連携の推進、がん対策の充実、救急医療体制の充実、地域包括ケアシステムの構築、健康づくりを推進

⑭日々の暮らし安心・安全確保プロジェクト

食や消費生活の安心・安全の確保、犯罪や交通事故から子どもや高齢者等を守る対策を推進

[Ⅴ 行財政基盤強化戦略]

⑮持続可能な行財政基盤強化プロジェクト

効率的で健全な行政運営を行い、将来にわたって持続可能で揺るぎない行財政基盤を確立

⑤総合的な施策の推進 ～施策体系～

県の施策を、「戦略」の区分を基本に体系的に整理し、総合的に推進
(5の大項目、25の中項目、100の小項目)

大項目	
中項目	
小項目	
I	産業活力の創造
1	競争力のある産業の育成
(1)	物流拠点港湾の機能強化
(2)	工業用水の安定供給
(3)	物流等基盤の強化
(4)	付加価値の高い研究開発・設備投資と企業立地の促進
2	成長が期待される産業の育成・集積
(5)	医療関連産業の育成・集積
(6)	環境・エネルギー産業の育成・集積
(7)	水素利活用による産業振興と地域づくり
3	意欲的な中小企業の成長支援
(8)	創業支援の強化
(9)	中小企業の成長支援の強化
(10)	ものづくり力の高度化・ブランド化の推進
(11)	ふるさと産業の振興
(12)	多様な商業・サービス産業の振興
(13)	中小企業・小規模事業者の経営基盤の安定
(14)	金融支援の充実強化
4	農林水産業の振興
(15)	県産農林水産物の安定した需要の確保
(16)	中核経営体の確保・育成
(17)	需要に即した品目の生産拡大
(18)	農山漁村資源の回復・増大
5	魅力を生かした観光振興の推進
(19)	プロモーションの推進
(20)	観光資源・おもてなしの充実
(21)	「明治維新」をテーマとした観光ブランドの構築
(22)	外国人観光客倍増に向けた国際観光の推進

II 地域活力の創造

6 拠点性向上・交通ネットワークの整備

(23)	県内交通機関の利便性向上と利活用の促進
(24)	交通基盤整備の推進
(25)	生活交通の維持・活性化
(26)	コンパクトなまちづくりの推進

7 山口の魅力、県外発信の強化

(27)	県外への情報発信力の向上
(28)	県政広報の推進

8 中山間地域の活性化

(29)	持続可能な地域社会の形成
(30)	安心・安全で暮らしやすい生活環境の整備
(31)	くらしを支える多様な産業の振興

9 環境の保全

(32)	再生可能エネルギーの導入促進・地球温暖化対策の推進
(33)	循環型社会の形成
(34)	生物多様性の保全と適正利用の推進
(35)	大気・水環境等の保全
(36)	環境の保全に向けた基盤づくり

10 地域を支える基盤づくり

(37)	県民活動の促進
(38)	共に見守り、支え合う地域づくりの推進

Ⅲ 人材活力の創造

11 子育て支援対策の充実

(39)	子育て文化の創造に向けた気運の醸成
(40)	保健医療サービスの充実と健康の増進
(41)	子育て家庭への支援の充実
(42)	仕事と家庭との両立支援
(43)	地域における子育て支援の充実
(44)	子ども安全確保と健全育成

12 知・徳・体の調和のとれた教育の推進

(45)	確かな学力の育成
(46)	豊かな心の育成
(47)	健やかな体の育成
(48)	キャリア教育の推進
(49)	国際教育の推進
(50)	特別支援教育の推進
(51)	地域と学校が連携した子どもの育成支援

13 質の高い教育環境づくりの推進

(52)	教育環境の整備と学校安全対策の推進
(53)	教職員の資質能力の向上
(54)	特色ある学校づくりの推進
(55)	私学の振興
(56)	修学支援の充実
(57)	高等教育機関の整備充実

14 文化・スポーツの推進

(58)	文化芸術に親しむ環境づくりの推進
(59)	文化芸術を担う人材の育成と支え育む基盤整備の推進
(60)	文化財の保護と活用
(61)	生涯スポーツの推進と競技水準の向上
(62)	スポーツを通じた人材育成と地域の活性化

15 県民が活躍できる環境づくり

(63)	男女共同参画社会の実現
(64)	ワーク・ライフ・バランスの推進
(65)	高齢者が活躍できる地域社会の実現
(66)	障害者が活躍できる地域社会の実現
(67)	人権が尊重された地域社会の実現
(68)	生涯学習の推進
(69)	世界に開かれた交流基盤づくり

16 山口への人材誘致の推進

(70)	UJI ターンの推進
(71)	中山間地域への定住のサポート

17 産業人材の育成

(72)	職業教育の推進
(73)	職業能力開発の推進
(74)	技能・技術の円滑な継承と技能の振興

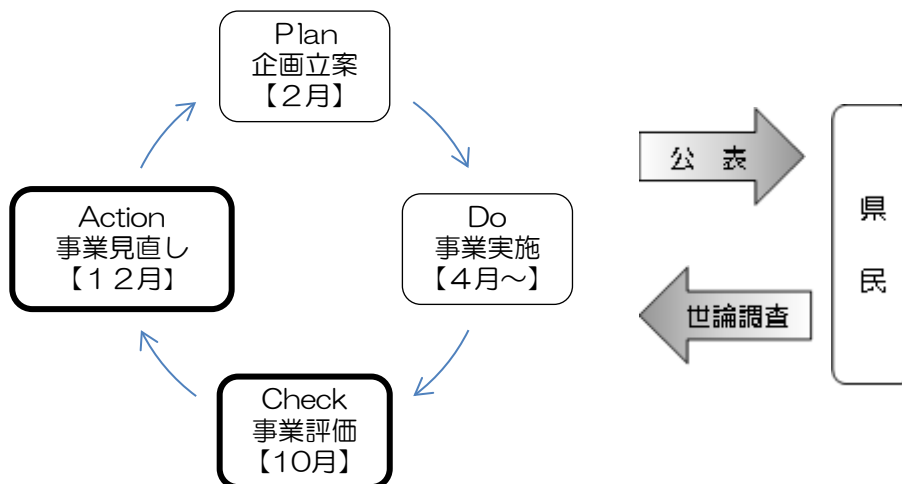
IV 安心・安全の確保	
18	災害に強い基盤づくり
(75)	災害対応力の強化
(76)	生活・社会基盤の耐震化の推進
(77)	地域防災力の充実強化
(78)	県北部豪雨災害の復旧の加速化
19	安心できる医療提供体制の充実
(79)	医療提供体制の充実強化
(80)	医師・看護師等の確保対策の推進
(81)	がん対策の充実
(82)	感染症等疾病対策の充実
(83)	健康づくりの推進
20	介護サービスの充実強化
(84)	地域包括ケアシステムの構築と介護サービスの充実
(85)	介護を担う人材の確保と資質の向上
21	雇用の確保・創出
(86)	若者等に対する雇用対策の推進
(87)	U J I ターン就職の推進
(88)	離職者対策の推進
22	暮らしの安心・安全の確保
(89)	食の安心・安全の確保と消費生活の安定と向上
(90)	交通安全対策の推進
(91)	犯罪防止対策の推進
(92)	安心・安全で暮らしやすい環境整備の推進
(93)	暮らしのセーフティネットの確保
V 行財政基盤の強化	
23	市・町との連携強化と県民等意見の反映
(94)	市・町との連携強化
(95)	市町の基盤強化と権限移譲の促進
(96)	県民等からの意見の反映
24	現場・成果・スピード重視の組織づくり
(97)	県民サービスの向上と事務の効率化
(98)	人材育成と組織の活性化
25	持続可能で揺るぎない行財政基盤の確立
(99)	簡素で効率的な行政運営の推進
(100)	持続可能な財政構造の確立

⑥ 着実な推進に向けて

(1) 進行管理体制(案)

プランに掲げる突破プロジェクトや重点施策の着実な推進を図るため、知事をトップとする庁内組織として、「チャレンジプラン推進本部」を新たに設置し、総合的な進行管理を行う。

(2) プロジェクト等の評価・改善手法(案)



突破プロジェクトや重点施策の実施状況、進捗状況について、「政策評価システム」等の評価手法を参考に、「活力指標」等を用いながら評価を加え、より効果的な事業推進を目指す。